

あなたの隣の発達障害
～地域で安心して暮らしていくために～

当事者からのメッセージ ～これまでを振り返って思うこと～

特定非営利活動法人
自閉症ピアリンクセンターここねっと

1

特定非営利活動法人 自閉症ピアリンクセンター「ここねっと」

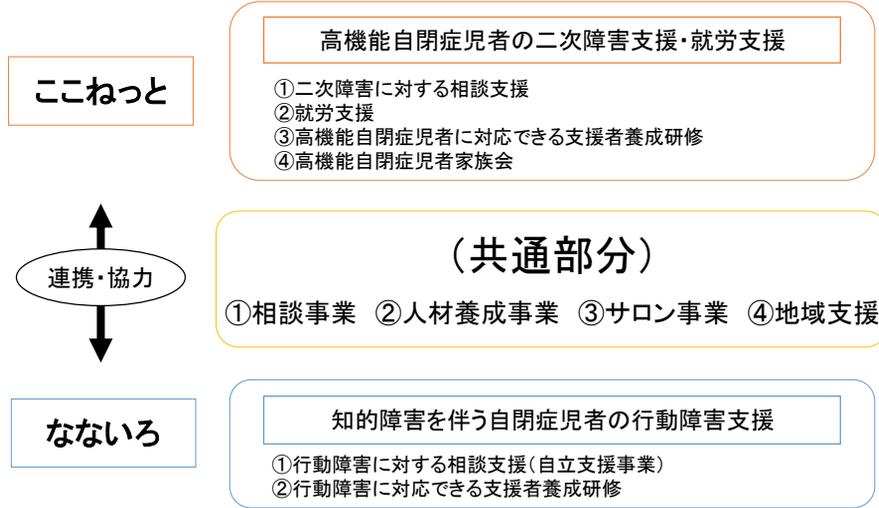
- 平成17年9月設立
- コミュニティ、コミュニケーション、ネットワーク
- 理念：発達障害のある人もない人も互いに支え合える地域
- 事業：発達障害の方々への相談、通所、居住などの各種サービス（登録者 約500名）
- 対象は2～60歳位のご本人とその家族、支援者
- 拠点は9つで仙台市と富谷市で活動

www.coconet.or.jp/



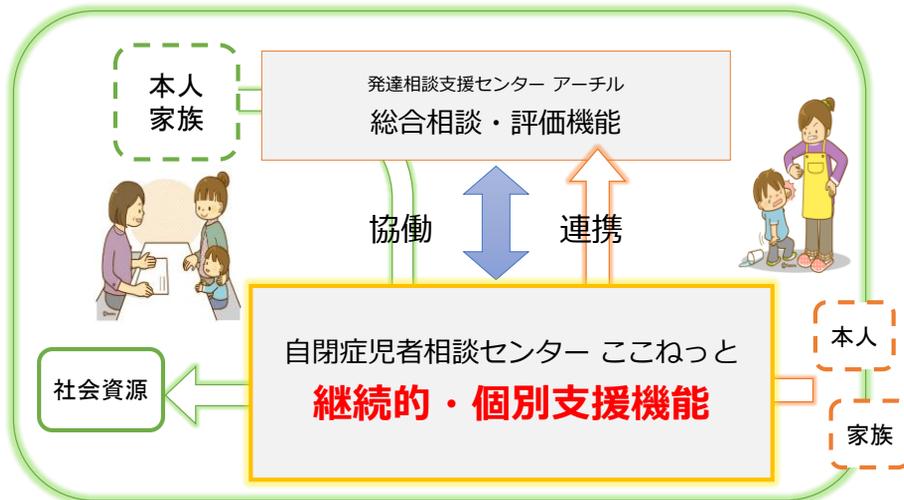
2

二つの自閉症児者相談センター



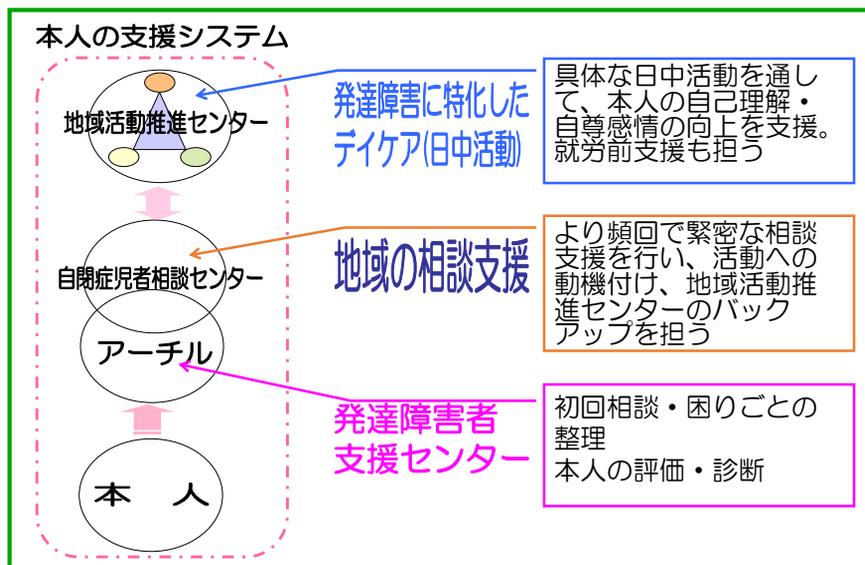
3

アーチルとの役割分担



4

発達障害者地域活動推進センター①



5

発達障害者地域活動推進センター②

●支援の対象

仙台市在住で療育手帳の取得が難しい18歳以上の方

●支援の目的

知的遅れのない成人期の発達障害者が、就労や自立など社会参加へ向けた意欲を獲得すること。

●主な利用ニーズ

- ・具体的な対人、生活スキルを学びたい。
- ・自身の得意不得意を整理したい。
- ・当事者同士の出会いの場が欲しい。
- ・余暇の幅を広げたい。

6

もくじ

※配布資料はございません。スクリーンをご覧ください。

- 私の発達特性
- 社会適応と苦悩
- 私なりの生き方
- 最後に

7

当事者活動時のアンケートより

8

「余暇」について望むことは？



- A**
- 好きなことを一緒に楽しめる仲間がほしい。
 - 趣味のコミュニティのを見つけ方を知りたい。
 - 趣味の合う人と**共通の話題**で盛り上がりたい。
 - 共通の話題のを見つけ方を知りたい。
 - 自分の興味ある分野をネットでアップし、共感を得られるようになりたい。
 - 他人と交流できるコミュニティを持ちたい。
- B** • 仕事と余暇の**バランスの取り方**を知りたい。
- C** • 特に、**趣味などが**ないからつらい。

9

「余暇」の課題



A: 余暇の共有

- 余暇自体はあるが、共有できる場(居場所)が少ない

B: 仕事・生活と余暇のバランス

- その他に時間がとられ余暇時間が確保しにくい

C: 余暇自体の(再)獲得

- 楽しみがなく(なくなり)、ストレス発散できない

10

ここねっと「当事者活動」 の取り組み

A: 余暇活動スペース『りふれっしゅデイ』の企画運営

- ヒーロー特撮、ゲーム動画、電車・バス旅行…etc
- ※サークル活動化準備中
- 地域の子ども向けお楽しみブース

B: 『私の望む「暮らし」を考える勉強会』の開催

- 「暮らし」の選択肢を知り、自ら望む「暮らし」に気づく当事者勉強会

(**C:** 身近な日常生活体験の蓄積)

- 生活への動機づけ支援、エネルギーの回復、家族支援…etc

11